

令和 5年度 高等部 1年 ( II課程A類型 ①②グループ ) 美術科 年間指導計画

|              |         |     |                    |
|--------------|---------|-----|--------------------|
| 単位数／<br>配当時数 | 児童生徒    | 担当者 | 教科書／副教材            |
| 2/70         | 1学年 17名 |     | 高校生の美術1 ( 日本文教出版 ) |

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

|      |  |
|------|--|
| 年間目標 | <p>(知及技)造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。(高等部1段階)</p> <p>(思判表力)造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。(高等部1段階)</p> <p>(学・人)楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。(高等部1段階)</p> |
|------|--|

| 学期      | 時数 | 単元・題材の目標  | 単元・題材の評価規準   | 単元・題材名      | 単元・題材の活動内容   |
|---------|----|---|--|-------------|--|
| 1<br>学期 | 4  | <p>(知及技)形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や画材の特性を生かして表す。(高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア))</p> <p>(思判表力)身近なものの特徴や美しさを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を工夫したり鑑賞したりする。(高1段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)(イ))</p> <p>(学・人)身近なものの特徴や美しさなどを捉え表す学習活動に主体的に取り組む。(高1段階：B鑑賞ア(ア)(イ))</p>             | <p>(知・技)形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や画材の特性を生かして表している。</p> <p>(思・判・表)身近なものの特徴や美しさを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想をしたり鑑賞している。</p> <p>(主学)身近なものの特徴や美しさなどを捉え表す学習活動に主体的に取り組んでいる。</p> <p>【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。</p>           | ○身近なものを描く   | 身近なものの特徴や美しさなどを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想をしたり、鑑賞したりするとともに、身近なものの特徴や美しさなどの全体のイメージを捉え、線の強弱や選んだ画材などの特性を生かして表す。   |
|         | 10 | <p>(知及技)色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表す。(高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア))</p> <p>(思判表力)基本的な色の仕組みや性質を学び効果を考え構想を工夫したり鑑賞したりする。(高1段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア))</p> <p>(学・人)色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組む。(高1段階：共通事項(ア)(イ))</p>                                   | <p>(知・技)色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わしている。</p> <p>(思・判・表)基本的な色の仕組みや性質を学び効果を考え構想をしたり鑑賞している。</p> <p>(主学)色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。</p> <p>【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。</p>                             | ○色彩の基礎      | デザインを構想・表現するために、色彩、造形の秩序、構成の要素、構図、文字の基本などについて学び、理解を広げる。  |
|         | 10 | <p>(知及技)形や色、質感、重心やバランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表す。(高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア))</p> <p>(思判表力)素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を工夫したり鑑賞したりする。(高1段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア))</p> <p>(学・人)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組む。(高1段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ))</p> | <p>(知・技)形や色、質感、重心やバランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表している。</p> <p>(思・判・表)素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想をしたり鑑賞したりしている。</p> <p>(主学)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。</p> <p>【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。</p> | ○身近な素材と立体表現 | 素材の特性を理解し、表したいイメージを基に、形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、バランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材と向き合い、素材の可塑性や弾力性、軽さや重さ、質感や触感、加工や接着の方法などを理解し、素材の特性を生かして表し方を工夫する。 |
| 2<br>学期 | 16 | <p>(知及技)全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表す。(高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア))</p> <p>(思判表力)版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想を工夫したり考えたりする。(高1段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア))</p> <p>(学・人)版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組む。(高1段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ))</p>           | <p>(知・技)全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表している。</p> <p>(思・判・表)版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、構想をしたり考えている。</p> <p>(主学)版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。</p> <p>【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。</p>              | ○版で表す       | 版画の表現のよさや特性を理解し、版による表現の効果を考え、構想したり鑑賞したりするとともに、全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表す。   |

|             |   |   |                |   |
|-------------|---|---|----------------|---|
| 1期          | 12<br>(知及技) 思いや感じ取ったことを基にして、映像メディア機器の機能や効果を生かして表す。(高1段階: A表現ア(イ)、共通事項(ア))<br>(思判表力) 画面の構成と時間の流れや物語性、言葉や表現効果や伝達効果を工夫する。(高1段階: A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア))<br>(学・人) 映像メディア機器等の特性を生かした表現方法等を創意工夫して表す学習活動に、主体的に取り組む。(高1段階: A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)) | (知・技) 思いや感じ取ったことを基にして、映像メディア機器の機能や効果を生かして表している。<br>(思・判・表) 画面の構成と時間の流れや物語性、言葉や表現効果や伝達効果を工夫している。<br>(主学) 映像メディア機器等の特性を生かした表現方法等を創意工夫して表す学習活動に、主体的に取り組むんでいる。<br>【評価資料】 活動の様子観察、提出作品で評価する。 | ○アニメーションの手法    | テーマを基に、絵コンテを描くなどして画面の変化のさせ方や速度などを検討し、表現効果や伝達効果を工夫して、映像メディア機器の機能や効果を生かし、画面の構成と時間の流れや物語性、言葉や音などの効果を考え、映像メディア機器等の特性を生かした表現方法などを創意工夫してアニメーションを制作する。 |
| 3<br>学<br>期 | 8<br>(知及技) 作品の大きさから感じる迫力や繊細さ、筆致の違いなどの効果、全体のイメージなどを捉える。(高1段階: A表現ア(イ)、共通事項(ア))<br>(思判表力) 迫力や繊細さなど、作品の大きさをもたらす効果などについて考える。(高1段階: A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア))<br>(学・人) 実物の大きさならではの迫力や繊細さなどをイメージして鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。(高1段階: A表現ア(ア)、B鑑賞ア(イ))   | (知・技) 作品の大きさから感じる迫力や繊細さ、筆致の違いなどの効果、全体のイメージなどを捉えている。<br>(思・判・表) 迫力や繊細さなど、作品の大きさをもたらす効果などについて考えている。<br>(主学) 実物の大きさならではの迫力や先生などをイメージして鑑賞する学習活動に、主体的に取り組んでいる。<br>【評価資料】 活動の様子観察、提出作品で評価する。  | ○大きさを意識して      | 作品の大きさによる表現効果や、良さや美しさを知り、表現の工夫などについて見方や感じ方を深める。<br>卒業式壁画制作に協力して取り組む。  |
| 10          | (知及技) 構図や表情、色彩の効果、全体のイメージや作風様式などを捉える。(高1段階: A表現ア(イ)、共通事項(ア))<br>(思判表力) 作品のよさや美しさ、表現の特質、身近な美術文化の継承と創造について考える。(高1段階: A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)(イ))<br>(学・人) 作品の良さや美しさなどを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。(高1段階: B鑑賞ア(ア)(イ))                               | (知・技) 構図や表情、色彩の効果、全体のイメージや作風様式などを捉えている。<br>(思・判・表) 作品のよさや美しさ、表現の特質、身近な美術文化の継承と想像について考えている。<br>(主学) 作品の良さや美しさなどを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組んでいる。<br>【評価資料】 活動の様子観察、提出作品で評価する。                      | ○鑑賞<br>(日本の美術) | 複数の視点から見た画面を組み合わせた作品の表現の意図や工夫について考え、鑑賞するとともに、作者の視点に着目し、作品の表現の意図や工夫、全体のイメージや作風、様式などを捉える。   |
| 留意点<br>引継ぎ等 |   |   |                |   |

令和 5年度 高等部 1年 ( II課程A類型 ③④グループ ) 美術科 年間指導計画

|              |         |     |                  |
|--------------|---------|-----|------------------|
| 単位数／<br>配当時間 | 児童生徒    | 担当者 | 教科書／副教材          |
| 2／70         | 1学年 13名 |     | 高校生の美術1 (日本文教出版) |

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

|      |   |
|------|---|
| 年間目標 | <p>(知及技) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようになる。(高等部1段階)</p> <p>(思判表力)造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。(高等部1段階)</p> <p>(学・人)楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。(高等部1段階)</p> |
|------|---|

| 学期  | 時数 | 単元・題材の目標   | 単元・題材の評価規準  | 単元・題材名      | 単元・題材の活動内容   |
|-----|----|--|---|-------------|--|
| 1学期 | 4  | (知及技) 形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、 <b>材料や用具の特性を生かして</b> 表す。(高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア))<br>(思判表力)身近なものの特徴や美しさを基に、形や色彩、質感など <b>全体と部分との関係などを考え、構想を工夫したり鑑賞したりする</b> 。(高1段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(イ))<br>(学・人)身近なものの特徴や美しさなどを捉え表す学習活動に主体的に取り組む。(高1段階：B鑑賞ア(ア)(イ))       | (知・技) 形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、 <b>材料や用具の特性を生かして</b> 表している。<br>(思・判・表)身近なものの特徴や美しさを基に、形や色彩、質感など <b>全体と部分との関係などを考え、構想を工夫したり鑑賞したりする</b> 。<br>(主学)身近なものの特徴や美しさなどを捉え表す学習活動に主体的に取り組んでいる。<br>【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。 | ○身近なものを描く   | 身近なものの特徴や美しさなどを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想をしたり、鑑賞したりするとともに、身近なものの特徴や美しさなどの全体のイメージを捉え、線の強弱や選んだ画材などの特性を生かして表す。   |
|     | 10 | (知及技) 色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表す。(高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア))<br>(思判表力)基本的な色の仕組や性質を学び効果を考え <b>構想をしたり鑑賞したりする</b> 。(高1段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア))<br>(学・人)色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組む。(高1段階：共通事項(ア)(イ))  | (知・技) 色彩の仕組みを生かして色づくりや配色に創造的に取り組み表わしている。<br>(思・判・表)基本的な色の仕組や性質を学び効果を考え <b>構想をしたり鑑賞したりする</b> 。<br>(主学)色の性質や配色の工夫がもたらす効果を作品制作に生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。<br>【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。                                     | ○色彩の基礎      | デザインを構想・表現するために、色彩、造形の秩序、構成の要素、構図、文字の基本などについて学び、理解を <b>広げる</b> 。   |
|     | 10 | (知及技) 形や色、 <b>質感や量感、動勢などの造形的な特徴をもとに</b> 、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表す。(高1段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア))<br>(思判表力)素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、 <b>構想をしたり鑑賞したりする</b> 。(高1段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア))<br>(学・人)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組む。(高1段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)) | (知・技) 形や色、 <b>質感や量感、動勢などの造形的な特徴をもとに</b> 、全体のイメージを捉え、素材の特性を生かして表している。<br>(思・判・表)素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、 <b>構想をしたり鑑賞したりする</b> 。<br>(主学)使う素材を理解し、立体に表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。<br>【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。   | ○身近な素材と立体表現 | 素材の特性を理解し、表したいイメージを基に、形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、バランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージを捉え、素材と向き合い、素材の可塑性や弾力性、軽さや重さ、質感や触感、加工や接着の方法などを理解し、素材の特性を生かして表し方を工夫する。 |
| 2学期 | 16 | (知及技) 全体のイメージや作風などを捉え、 <b>線や面などの版による表現のよさや美しさを感じとり</b> 、彫りや製版、刷りを工夫して表す。<br>(中2段階：A表現ア(イ)、共通事項(ア))<br>(思判表力)版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、 <b>構想をしたり考えたりする</b> 。(高1段階：A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア))<br>(学・人)版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組む。(高1段階：A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ)) | (知・技) 全体のイメージや作風などを捉え、 <b>線や面などの版による表現のよさや美しさを感じとり</b> 、彫りや製版、刷りを工夫して表している。<br>(思・判・表)版画の表現の良さや特質を基に、版による表現の効果を考え、 <b>構想をしたり考えたりする</b> 。<br>(主学)版による表現の特性を生かして表す学習活動に主体的に取り組んでいる。<br>【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。       | ○版で表す       | 版画の表現のよさや特性を理解し、版による表現の効果を考え、 <b>構想したり鑑賞したりする</b> とともに、全体のイメージや作風などを捉え、線や面などの版による表現の効果を生かし、彫りや製版、刷りを工夫して表す。  |

|             |    |  |   |                |   |
|-------------|----|--|---|----------------|---|
| 期           | 12 | (知及技) 思いや感じ取ったことを基にして、映像メディア機器の機能や効果を用いて表す。(高1段階: A表現ア(イ)、共通事項(ア))<br>(思判表力) 画面の構成と時間の流れや物語性などを感じ取り表現効果を工夫する。(高1段階: A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア))<br>(学・人) 映像メディア機器等の特性を生かした表現方法等を創意工夫して表す学習活動に、主体的に取り組む。(高1段階: A表現ア(ア)、共通事項(ア)(イ))     | (知・技) 思いや感じ取ったことを基にして、映像メディア機器の機能や効果を用いて表している。<br>(思・判・表) 画面の構成と時間の流れや物語性などを感じ取り表現効果を工夫する。<br>(主学) 映像メディア機器等の特性を生かした表現方法等を創意工夫して表す学習活動に、主体的に取り組んでいる。<br>【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。      | ○アニメーションの手法    | テーマを基に、絵コンテを描くなどして画面の変化のさせ方や速度などを検討し、表現効果や伝達効果を工夫して、映像メディア機器の機能や効果を生かし、画面の構成と時間の流れや物語性、言葉や音などの効果を考え、映像メディア機器等の特性を生かした表現方法などを創意工夫してアニメーションを制作する。 |
| 3<br>学<br>期 | 8  | (知及技) 作品の大きさから感じる迫力や繊細さ、筆致の違いなどの効果、全体のイメージなどを捉える。(高1段階: A表現ア(イ)、共通事項(ア))<br>(思判表力) 迫力や繊細さなど、作品の大きさをもたらす効果などについて考える。(高1段階: A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア))<br>(学・人) 実物の大きさならでの迫力や繊細さなどをイメージして鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。(高1段階: A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)(イ)) | (知・技) 作品の大きさから感じる迫力や繊細さ、筆致の違いなどの効果、全体のイメージなどを捉えている。<br>(思・判・表) 迫力や繊細さなど、作品の大きさをもたらす効果などについて考えている。<br>(主学) 実物の大きさならでの迫力や繊細さなどをイメージして鑑賞する学習活動に、主体的に取り組んでいる。<br>【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。 | ○大きさを意識して      | 作品の大きさによる表現効果や、良さや美しさを知り、表現の工夫などについて見方や感じ方を深める。卒業式壁画制作に協力して取り組む。  |
|             | 10 | (知及技) 構図や表情、色彩の効果、全体のイメージや表現の工夫を感じ取る。(中2段階: A表現ア(イ)、共通事項(ア))<br>(思判表力) 作品のよさや美しさ、表現の特質、身近な美術文化の継承と創造について考える。(高1段階: A表現ア(ア)、B鑑賞ア(ア)(イ))<br>(学・人) 作品の良さや美しさなどを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。(高1段階: B鑑賞ア(ア)(イ))                          | (知・技) 構図や表情、色彩の効果、全体のイメージや表現の工夫を感じ取る。<br>(思・判・表) 作品のよさや美しさ、表現の特質、身近な美術文化の継承と想像について考えている。<br>(主学) 作品の良さや美しさなどを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組んでいる。<br>【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。                       | ○鑑賞<br>(日本の美術) | 複数の視点から見た画面を組み合わせた作品の表現の意図や工夫について考え、鑑賞するとともに、作者の視点に着目し、作品の表現の意図や工夫、全体のイメージや作風、様式などを捉える。   |
| 留意点<br>引継ぎ等 |    |  |   |                |   |

令和 5年度 高等部 1年 ( II課程 B類型 ) 美術科 年間指導計画

|                  |        |     |         |
|------------------|--------|-----|---------|
| 単位数<br>/配當時<br>数 | 児童生徒   | 担当者 | 教科書/副教材 |
| 2/70             | 1学年 8名 |     |         |

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等  
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

| 年間目標    |    | (知及技) 造形的な視点について理解するとともに、自分らしく表現できるようにする。(高1段階)<br>(思判表力) 美術作品などのよさや美しさを感じ取り、表現の意図や工夫などについて学ぶ。(高1段階)<br>(学・人) 楽しく美術の活動に取り組み、創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培う。(高1段階)         |   |   |  |
|---------|----|---|---|---|--|
| 学期      | 時数 | 単元・題材の目標  | 単元・題材の評価規準  | 単元・題材名  | 単元・題材の活動内容   |
| 1<br>学期 | 8  | (知及技) 材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて工夫して材料や用具を選び、色や材料の特徴を知る。(中1段階：表現(イ))<br>(思判表力) 材料や想像したこと、思ったことから描きたいものを思い付き、色や形をもとにイメージする。(小3段階：表現(ア)共通(イ))<br>(学・人) 好きなものを生き生きと表現する。 | (知・技) 材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて工夫して材料や用具を選び、色や材料の特徴を知ろうとする。(中1段階：表現(イ))<br>(思・判・表) 材料や想像したこと、思ったことから描きたいものを思い付き、色や形をもとにイメージしようとする。(小3段階：表現(ア)共通(イ))<br>(主学) 好きなものを生き生きと表現しようとする。<br>【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。 | ○好きなものを描こう                                      | ・マジック、クーピーなどの材料や用具を選んだり、シールや紙を切り張りするなど工夫する。(知及技に関する活動)<br>・描きたいものがわかり、好きな色や形を描いたり、紙など貼ったりして表す。(思判表力に関する活動)<br>・好きなものについて話したり指さしなどで伝える。(主学)                       |
|         | 8  | (知及技) 素材や用具に親しみ、表したいことに合わせて工夫して材料や用具を選び、色や材料の特徴を知る。(中1段階：表現(イ)共通(ア))<br>(思判表力) 材料や想像したこと、思ったことから表したいことを思いつく。(小3段階：表現(ア))<br>(学・人) 楽しく表現活動に取り組むことができる。               | (知・技) 素材や用具に親しみ、表したいことに合わせて工夫して材料や用具を選び、色や材料の特徴を知ろうとする。(中1段階：表現(イ)共通(ア))<br>(思・判・表) 材料や想像したこと、思ったことから表したいことを発想しようとする。(小3段階：表現(ア))<br>(主学) 楽しく表現活動に取り組もうとする。<br>【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。                     | ○赤青黄色の絵の具を混ぜてみよう。<br>～のり絵の具を使って～<br>～かたくりこを使って～ | ・必要な用具や材料を正しく使ったり、色が混ざると変化することを知る。(知及技に関する活動)<br>・のりやかたくりこの感触に親しみ、用具や手指を使っていろいろな線や形を描いてみる。何かのイメージと結びつけて表現する。(思判表力に関する活動)<br>・いろいろな方法で描いたり、のびのびと表現する。(主学)         |
|         | 8  | (知及技) 材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて表し方を工夫し、材料や用具を選んで使う。(中1段階：表現(イ))<br>(思判表力) 材料や感じたこと、見たことから表したいことを思いつく。(小3段階：表現(ア))<br>(学・人) 経験したことを思い出して描く。                           | (知・技) 材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて表し方を工夫し、材料や用具を選んで使おうとする。(中1段階：表現(イ))<br>(思・判・表) 材料や感じたこと、見たことから表したいことを思いつく。(小3段階：表現(ア))<br>(主学) 経験したことを思い出して表現しようとする。<br>【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。                             | ○校内実習で経験したことを思い出して描こう                           | ・材料や用具を選んだり、シールや紙を切り張りするなど工夫する。(知及技に関する活動)<br>・写真や動画を見て経験したことを思い出し、自分の作業の様子を描いたり写真を貼ったりして絵に表す。(思判表力に関する活動)<br>・頑張ったことや楽しかったことについて話したり指さしなどで伝える。(主学)              |
| 2<br>学期 | 10 | (知及技) 材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表す。(中1段階：表現(イ))<br>(思判表力) 材料や感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことや表し太鼓とを思いつく。(小3段階：表現(ア))<br>(学・人) いろいろな表現方法を楽しむ。       | (知・技) 材料や用具の扱いに親しみ、表したいことに合わせて表し方を工夫し、材料や用具を選んで使い表そうとする。(中1段階：表現(イ))<br>(思・判・表) 材料や感じたこと、想像したこと、見たこと、思ったことから表したいことや表し太鼓とを思いつく。(小3段階：表現(ア))<br>(主学) いろいろな表現方法を楽しもうとする。<br>【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。           | ○スチレン版画でおもしろい模様を表現しよう                           | ・スチレンボードを引っ掻いたり型押ししたりして、原画を作り、刷りまでの工程を理解する。インクをつけて刷ると違う作品に変化する様子を見る。(知・技に関する活動)<br>・線や形を組み合わせたり好きなものを並べたりして、おもしろい模様になるように考える。(思・判・表に関する活動)<br>・版画のおもしろさを味わう。(主学) |

|             |    |   |  |  |   |
|-------------|----|---|--|--|---|
| 期           | 8  | <p>(知及技) 材料や用具の扱いに親しみ、材料や用具を選んで使い、形や色、材料の特徴を知る。(中1段階:表現(イ)共通(ア))<br/>(思判表力) 材料や感じたこと、見たことから表したいことを思いつく。(小3段階:表現(ア))<br/>(学・人) いろいろな材料を組み合わせ、創作することを楽しむ。</p>                       | <p>(知・技) 材料や用具の扱いに親しみ、材料や用具を選んで使い、形や色、材料の特徴を知ろうとする。(中1段階:表現(イ)共通(ア))<br/>(思・判・表) 材料や感じたこと、見たことから表したいことを思いつく。(小3段階:表現(ア))<br/>(主学) いろいろな材料を組み合わせ、創作することを楽しむ。<br/>【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。</p>                       | <p>○身近な材料で張り子のお面を作ろう</p>   | <p>・丸い型に習字紙やお花紙をのりで張り、自分の顔の目・鼻・口の配置を確認して形を作る。いろいろな材料で髪の毛や飾りを付ける。(知・技に関する活動)<br/>・目・鼻・口の形を考えて作ったり、タックシールを張ったりして自分らしい顔を表現する。(思・判・表に関する活動)<br/>・おもしろい飾りを付けたり、友達の作品と見比べてたりしながら創作活動を楽しむ。(主学)</p>     |
| 3<br>学期     | 10 | <p>(知及技) 材料や用具の扱いに親しみ、表し方を工夫し材料や用具を選んで使って表したり、形や色などの特徴を知る。(中1段階:表現(イ)共通(ア))<br/>(思判表力) 材料や感じたこと、想像したこと、思ったことから表したいことを思いつく。(小3段階:表現(ア))<br/>(学・人) 皆と協力して喜んで創造活動に取り組む。</p>          | <p>(知・技) 材料や用具の扱いに親しみ、表し方を工夫し材料や用具を選んで使って表したり、形や色などの特徴を知ろうとする。(中1段階:表現(イ)共通(ア))<br/>(思・判・表) 材料や感じたこと、想像したこと、思ったことから表したいことを考える。(小3段階:表現(ア))<br/>(主学) 皆と協力して喜んで創造活動に取り組もうとする。<br/>【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。</p>       | <p>○みんなで協力して卒業式壁画を制作しよう</p>  | <p>・色紙やマジック、色鉛筆などいろいろな材料を組み合わせ、テーマに合った形を表現する。(知・技に関する活動)<br/>・卒業式の意味やテーマについて知り、3年生をお祝いしたり応援する気持ちを表す。(思・判・表に関する活動)<br/>・(主学) 一人一人の作品を組み合わせたり、皆で共同制作することを楽しむ。</p>                                 |
| 3<br>学期     | 8  | <p>(知及技) 形や色などの特徴について知る。(中1段階:共通(ア))<br/>(思判表力) 自分たちの作品や生活の中にあるものの形や色、面白さについて感じ取り、形や色の感じをもとに自分のイメージをもつ。(小3段階:鑑賞(ア)共通(イ))<br/>(学・人) 自分たちの作品や身の回りのものの形や色の面白さを感じ取り、美術を愛する気持ちを持つ。</p> | <p>(知・技) 形や色などの特徴について知ろうとする。(中1段階:共通(ア))<br/>(思・判・表) 自分たちの作品や生活の中にあるものの形や色、面白さについて感じ取り、形や色の感じをもとに自分のイメージを持つ。(小3段階:鑑賞(ア)共通(イ))<br/>(主学) 自分たちの作品や身の回りのものの形や色の面白さを感じ取り、美術を愛する気持ちを持つ。<br/>【評価資料】活動の様子観察、提出作品で評価する。</p> | <p>○自分や友達の作品を見てみよう<br/>○身の回りの沖縄の工芸品を見てみよう<br/>～自分のオリジナルシーサーに好きな色を塗ると～<br/>～お店みたいにお皿やシーサーを並べてみよう～</p> | <p>・自分や友達の作品を見比べて、色や形、表現の違いに気づく。身近にある沖縄の工芸品を見たり触ったりして、形や色の感じについて話し合う。(知・技に関する活動)<br/>・自分の作品の色や形の面白さを理解し、身近にある沖縄の工芸品の形や色などをよく見たり触ったりして感じ取る。(思・判・表に関する活動)<br/>・シーサーや沖縄の焼き物をぬりえやコラージュで楽しむ。(主学)</p> |
| 留意点<br>引継ぎ等 |    |   |  |  |   |